

# 要 望 書



南海電鉄高師浜線  
【大阪府】



西日本鉄道天神大牟田線  
【福岡県】



西武鉄道新宿線、  
国分寺線及び西武園線  
【東京都】



名古屋鉄道名古屋本線  
【名古屋市】



阪神電鉄阪神本線  
【神戸市】

2022年12月

全国連続立体交差事業促進協議会

# 連続立体交差事業の予算確保について

連続立体交差事業は、鉄道を連続的に高架化または地下化することによって、多数の踏切を一挙に除却し、踏切による渋滞や事故を解消するなど都市交通を円滑化するとともに、鉄道で分断された市街地の一体化を促進する事業です。

これまで、全国各地において連続立体交差事業が実施され、完了箇所では大きな成果をあげていますが、いまだに踏切による渋滞や事故が多く発生している現状を踏まえると、今後も、多くの箇所で連続立体交差事業を着実に実施していくことが求められています。

こうした背景の中、国におかれましては、令和元年度に踏切問題の抜本対策的改善策として期待される連続立体交差事業のさらなる推進に向けて、「個別補助制度」を創設され、予算を重点的に配分していただくなど事業の推進に向けて格段のご配慮をいただき、大変感謝しております。

令和3年10月に国において公表された緊急に対策の検討が必要な踏切に着目すると、平成28年6月公表時より143カ所減少したものの、未だ1336カ所となっており、さらなる踏切対策の促進が求められるなか、抜本的な踏切対策として連続立体交差事業が果たす役割は今後も非常に重要であります。加えて、連続立体交差事業は事業規模も大きく、長期に及ぶことか

ら、継続して計画的に事業を推進するためには、これまで以上に安定的に予算を確保することが必要不可欠です。

また、連続立体交差事業のストック効果を最大限発揮させることに加え、カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素化や道路交通の円滑化等、豊かで活力ある安全で快適な都市の実現のため、関連街路等を併せて整備することが重要です。

国におかれましても厳しい財政状況の中ではありますが、こうした事情を鑑み、以下の事項について格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

- 一、 連続立体交差事業が計画的かつ円滑に実施できるよう、継続的に必要な予算を確保すること**
- 一、 連続立体交差事業のストック効果を最大限発揮させるため、関連街路等の整備が計画的かつ円滑に実施できるよう、継続的に必要な予算を確保すること**

2022（令和4）年12月

全国連続立体交差事業促進協議会

会 長 大阪府知事 吉村 洋文



# 会員

## 【都道府県】

北海道  
群馬県  
埼玉県  
千葉県  
東京都  
神奈川県  
富山県  
岐阜県  
静岡県  
愛知県  
京都府  
奈良県  
大阪府  
兵庫県  
岡山県  
広島県  
徳島県  
愛媛県  
福岡県  
長崎県

## 【政令市】

札幌市  
川崎市  
横浜市  
新潟市  
名古屋市  
大阪市  
堺市  
神戸市  
広島市  
福岡市  
北九州市

## 【市区町】

春日部市  
野田市  
鎌ヶ谷市  
墨田区  
品川区  
大田区  
世田谷区  
渋谷区  
北区  
板橋区  
練馬区  
足立区  
葛飾区  
中野区  
江戸川区  
杉並区  
武蔵野市  
三鷹市  
調布市  
小金井市  
立川市  
東村山市  
大和市  
富山市  
岐阜市  
沼津市  
北名古屋市  
半田市  
知立市  
豊田市

向日市  
長岡京市  
奈良市  
枚方市  
寝屋川市  
摂津市  
高石市  
東大阪市  
西宮市  
姫路市  
加古川市  
芦屋市  
高砂市  
倉敷市  
府中町  
海田町  
徳島市  
松山市  
春日市  
大野城市  
長崎市

## 【鉄道事業者】

京成電鉄(株)  
小田急電鉄(株)  
東急電鉄(株)  
京浜急行電鉄(株)  
東武鉄道(株)  
西武鉄道(株)  
相模鉄道(株)  
京王電鉄(株)  
南海電気鉄道(株)  
近畿日本鉄道(株)  
名古屋鉄道(株)  
京阪電気鉄道(株)  
阪急電鉄(株)  
阪神電気鉄道(株)  
山陽電気鉄道(株)  
西日本鉄道(株)  
北海道旅客鉄道(株)  
東日本旅客鉄道(株)  
東海旅客鉄道(株)  
西日本旅客鉄道(株)  
四国旅客鉄道(株)  
九州旅客鉄道(株)  
日本貨物鉄道(株)